

第2回 海軍道路の桜並木に関する懇談会 議事要旨	
日 時	令和3年10月26日（火）10時00分～12時00分
開催場所	中屋敷地区センター 小・中会議室
出席者	参加者：13名 事務局：都市整備局 上瀬谷整備推進課
議 題	1 第1回懇談会での主な意見 2 現地説明会 3 現地説明会を終えての感想、意見交換
概 要	<p>「第1回懇談会での主な意見」を説明した後、現地説明会を実施。中屋敷地区センターに戻った後、意見交換をおこなった。</p> <p>(主な発言要旨)</p> <p>○現地で実際に桜を見ると、歩道に乗り上げていてかわいそうだと感じ、今の桜は残せないことに納得した。伐採するのであれば元気なうちに伐採をして、駅のベンチなどに活用してほしい。</p> <p>○伐採には納得したが、将来、誰のためにその空間（海軍道路の桜並木）をつくるのかを考えなければならない。桜のトンネルを写真として収めるためなら大きな桜を植えなければならないし、歩行者の散歩のためであれば、桜を近く感じられる小さな桜でも良い。</p> <p>○B区間もC区間も現在の桜を残すことは難しい。大事なことは散歩できる歩道幅を残すこと。瀬谷区の名所である桜を残す考えから脱却しても良いかもしれない。</p> <p>○30年、50年経つと木は必ず傷み、いずれは切らないといけなくなる。拡幅した道路に桜を植える場合、大きくなりすぎる前に植え替えるなどの工夫が必要。</p> <p>○そもそも桜は切ってはいけないものだが、街路樹はいずれ切らないといけない。C区間に桜を植えることには反対。基本的には常緑樹が良い。</p> <p>○現状は桜同士の間隔が狭く、車を運転していても、桜や周りの草が壁になって周りが見えない。早く切ってほしいし、新たに植えるものは桜でなくても良い。</p> <p>○基本的には今ある桜は全て切るべきであり、移植のコスト等を考えると移植することも無意味である。あまり大きくならないことや、土木事務所の検討経緯からヨウコウをお勧めしたい。</p> <p>○桜の周りの草が大きくなると車の運転席から何も見えなくなる。周りの草だけでも早く切ってほしいし、桜も切って安全な道にしてほしい。</p> <p>○今ある桜を使い、ベンチをつくったり燻製のチップに活用することは良いと思う。街路樹の開花時期はできる限り同じ時期の樹種に揃えてほしい。</p> <p>○現状の桜は細かな管理まではできていない。今後はできるだけ手間のかからない樹種が良いと思う。</p> <p>○桜は日本人の心であり、瀬谷区のレガシーでもある。今あるソメイヨシノと今後の街路樹としての在り方を考えていかなければならない。</p>

資 料	第2回 海軍道路の桜並木に関する懇談会 次第 資料1：第1回懇談会での主な意見 資料2：現地説明会ルート図 資料3：健全度調査結果 現地説明会ルート部分 資料4：海軍道路（本郷二丁目）の街路樹検討の経緯について 参考資料：今後のスケジュールと進め方
-----	---